



日本建築家協会(JIA)金曜の会 セミナー

意識に届くデザイン

人と空間を結ぶサインデザイン

【講師】グラフィックデザイナー 廣村正彰

サインデザインに一般的に求められる役割としては、その空間へ訪れた人に必要な情報を提供することであり、視認性や伝達速度などが重視されますが、私はサインデザインの役割はこれだけではないと考えています。もちろん、機能的であることは重要ですが、その空間の持つ個性を、訪れた人に感じてもらうこともサインデザインの大切な役割であると思います。今回は今まで手がけた事例をいくつかご紹介し、建築との関係性やデザインプロセスを中心にお話したいと思います。また、サインデザインに欠かせないピクトグラムについても、開発に携わった東京 2020 スポーツピクトグラムの解説と共にご紹介したいと思います。[廣村正彰]



A 横須賀美術館
B 龍谷大学
C TOTO MUSEUM
D 9h 博多駅

撮影:近藤泰夫
撮影:ナカサ&パートナーズ
撮影:ナカサ&パートナーズ
撮影:ナカサ&パートナーズ

■ 日時 2021年12月10日(金)19:00~21:00

■ 会場 ZOOMによるセミナー

■ 参加費 無料

■ 参加方法 参加ご希望の方は下記アドレスにアクセスし、必要事項を入力しお申し込み下さい。

<https://goo.gl/mKpT3V>

■ 主催 JIA 金曜の会(代表 久保田恵子)

■ 募集人数 400名

■ CPD 2単位

■ 協賛 株式会社建築家会館

講師プロフィール

廣村正彰（ひろむら まさあき）グラフィックデザイナー

愛知県生まれ。田中一光デザイン室を経て、1988年廣村デザイン事務所設立。グラフィックデザインを中心に、美術館や商業、教育施設などのサインデザイン、CI、VI計画を多く手がける。主な仕事に、横須賀美術館、9h ナインアワーズ、東京ステーションギャラリー、すみだ水族館、台中国家歌劇院、天王寺公園てんしば、鉄道博物館、アーティゾン美術館、ヨックモックミュージアム、そごう・西武ロフトのアートディレクション、東京 2020 スポーツピクトグラム開発に携わるなど。

<http://www.hiromuradesign.com>

